

## 1. ICT委員会 会議報告

愛知大学情報メディアセンターの事業および運営は、ICT企画会議のもと、三校舎合同のICT委員会を設置し、豊橋および名古屋（車道メディアゾーン含む）情報メディアセンターの事業を推進する。  
(2018年10月から2019年9月まで)

2018年度

◇第3回11月21日

議題：

1. 2019年度予算申請について
2. 2019年度情報メディアセンター開館カレンダーについて
3. 情報セキュリティ部会委員選出について
4. 学外からvegaへのメール送信(SMTPポート)の取り扱いについて
5. 学生貸出ノートPCの教職実習への貸出対応について

協議・報告：

1. COM編集委員選出について
2. 2019年2～3月でのシステム更新について

2019年度

◇第1回6月6日

議題：

1. COM編集委員選出について
2. 情報セキュリティ部会委員選出について
3. SOC (Security Operation Center) 仕様確認について
4. 豊橋校舎 教材提示装置更新(421, 423, 514教室)仕様確認について
5. 豊橋校舎 講師控室授業用貸出しPCの更新仕様確認について

協議・報告：

1. 2018年度事業報告書について
2. 2019年度事業計画書について
3. 2019年度機器・ソフトウェア更新について

◇第2回9月13日

議題：

1. 教育研究用システム更新2019について
2. 名古屋校舎コアスイッチ更新について

協議・報告：

1. 全学認証システムの不具合について
2. 豊橋校舎の施設整備に係る意見・要望について
3. 補正予算申請について
4. Moodle講習会の開催日程について
5. 2020年度実習室アンケートについて
6. 2020年度予算申請について

## 2. 情報メディアセンター主催行事

(2018年10月～2019年9月)

### ◆豊橋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月17日(水)	Excel2016講習会 応用編	423教室	1人
10月24日(水)	Word2016講習会 応用編	423教室	2人
10月31日(水)	メール講習会	423教室	4人
11月19日(月)	メール講習会	523教室	0人
11月21日(水)	Excel2016講習会 応用編	423教室	3人
11月26日(月)	Word2016講習会 応用編	523教室	3人
5月16日(木)	Word2016講習会 基礎編	423教室	4人
5月22日(水)	PowerPoint講習会 基礎編	421教室	12人
5月28日(火)	Excel2016講習会 基礎編	421教室	13人
6月14日(金)	Excel2016講習会 基礎編	421教室	3人
6月20日(木)	Word2016講習会 基礎編	423教室	3人
6月28日(金)	PowerPoint2016講習会 基礎編	421教室	3人

### ◆名古屋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月12日(金)	グラフ作成講習会 (Excel2016)	L712教室	1人
10月24日(水)	グラフ作成講習会 (Excel2016)	L712教室	1人
10月30日(火)	エクセル関数講習会 (Excel2016)	L711教室	2人
10月31日(水)	パワーポイント講習会 (PowerPoint2016)	L711教室	1人
11月6日(火)	文書作成講習会 (Word2016)	L711教室	1人
11月7日(水)	エクセル関数講習会 (Excel2016)	L712教室	1人
11月12日(月)	エクセル関数講習会 (Excel2016)	L712教室	2人
11月14日(水)	グラフ作成講習会 (Excel2016)	L710教室	14人
11月19日(月)	グラフ作成講習会 (Excel2016)	L712教室	1人
12月4日(火)	パワーポイント講習会 (PowerPoint2016)	L713教室	2人
12月4日(火)	文書作成講習会 (Word2016)	L712教室	2人

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
12月10日（月）	グラフ作成講習会（Excel2016）	L712教室	2人
12月17日（月）	パワーポイント講習会（PowerPoint2016）	L712教室	1人
3月4日（月）	エクセル関数講習会（Excel2016）	GWR1	2人
5月7日（火）	文書作成講習会（Word2016）	L711教室	3人
5月13日（月）	文書作成講習会（Word2016）	L712教室	3人
5月16日（木）	文書作成講習会（Word2016）	L711教室	7人
5月21日（火）	パワーポイント講習会（PowerPoint2016）	W403教室	21人
5月22日（水）	エクセル関数講習会（Excel2016）	L713教室	2人
5月22日（水）	グラフ作成講習会（Excel2016）	L713教室	3人
5月27日（月）	グラフ作成講習会（Excel2016）	L713教室	1人
5月31日（金）	グラフ作成講習会（Excel2016）	L710教室	2人
6月7日（金）	パワーポイント講習会（PowerPoint2016）	GWR2	3人
6月10日（月）	エクセル関数講習会（Excel2016）	L711教室	3人
6月12日（水）	文書作成講習会（Word2016）	L711教室	1人
6月13日（木）	パワーポイント講習会（PowerPoint2016）	L711教室	1人
6月17日（月）	文書作成講習会（Word2016）	L711教室	1人
6月17日（月）	グラフ作成講習会（Excel2016）	L712教室	6人
6月21日（金）	グラフ作成講習会（Excel2016）	L710教室	2人
6月24日（月）	パワーポイント講習会（PowerPoint2016）	L712教室	1人
6月26日（水）	エクセル関数講習会（Excel2016）	L710教室	5人
7月2日（火）	エクセル関数講習会（Excel2016）	L710教室	2人
7月17日（水）	エクセル関数講習会（Excel2016）	L710教室	2人
8月20日（火）	グラフ作成講習会（Excel2016）	L713教室	1人
8月20日（火）	パワーポイント講習会（PowerPoint2016）	L713教室	1人
8月29日（木）	エクセル関数講習会（Excel2016）	L713教室	1人

◆車道校舎：主催行事なし

# 2018年度Moodle (LMS) 運営業務報告

## 1. Moodle 講習会

Moodle の利用促進のため、Moodle 利用講習会を以下の通り実施した。

### ① 第27回 Moodle 講習会

校舎	開催日時	場所
豊橋	6月7日 2・3限	5号館 514教室
名古屋		厚生棟 W401教室

### ② 第28回 Moodle 講習会

校舎	開催日時	場所
豊橋	10月11日 2・3限	4号館 423教室
名古屋		4号館 421教室
		厚生棟 W402教室

### ③ 第29回 Moodle 講習会

校舎	開催日時	場所
豊橋	3月22日 2・3限	4号館 421教室
名古屋		厚生棟 W401教室

### 第27回 Moodle 講習会のお知らせ!

この講習会、ご意見を  
お寄せください!

第27回は、2018年版Moodleの説明です。  
18年度から使ってみたい方も、是非ご参加ください!

- 日時 6/7(木) 2・3 限**
  - 2限 【初心者向け講習会】 名古屋校舎 10:45～ 豊橋校舎 11:00～
  - 3限 【18年度版の説明、相談会】 名古屋校舎 13:00～ 豊橋校舎 13:20～
- 場所** 名古屋校舎 厚生棟 W401教室 / 豊橋校舎 5号館514教室
- 18年度版の説明、相談会**
  - 操作方法説明 コースリクエストと初期設定/教材配布(ファイルアップロード)/レポート課題/フォーラム/機能の紹介のみ ・小テスト ・アンケート
  - サポート体制、マニュアル設置場所の紹介 コースの開設や教材の配布をはじめ、Moodleの設定から使用方法の説明まで、メディアセンター職員や専任スタッフがお取り扱いに対応します。パソコンが苦手な先生方にも安心してお使いいただくことができます。  
・常駐サポート、メディアセンターサポート
- 18年度版のMoodleを使いながら変更点などの説明を行います。**  
18年度版のMoodleを使いながら変更点などの説明を行います。コース作成から学生の登録、配布する教材の電子化など、すぐにMoodleを使い始めるための準備を一掃に行います。授業の中で感じるMoodleに対する誤りごと、ご不安などの相談にお答えします。
- 講師** 名古屋校舎：運営室 森野誠之  
豊橋校舎：株式会社コネクティブ 内田広幸
- その他** ※事前登録の必要はありません。直接教室までお越しください。  
※当日は教員向けマニュアルを配布いたします。

**講習会に関するお問い合わせ先**

名古屋校舎 情報システム課	佐藤 (内線: 20553)	お問い合わせ先 E-Mail
豊橋校舎 情報システム課専任室	水谷 (内線: 1532)	E-mail: moodiestaff@m.aichi-u.ac.jp
豊橋校舎 情報システム課専任室	宮部 (内線: 3100)	

### 第28回 Moodle 講習会のお知らせ!

この講習会、ご意見を  
お寄せください!

Moodle講習会は少人数でゆっくり進めたいと思いますので、まだ使ったことがない方、使い始めの方にはベターです。既に使いこなされている方は、質問だけのご参加でも構いません。申込などは不要ですので、お気軽にお立ち寄りください。

- 日時 10/11(木) 2・3 限**
  - 2限 【初心者向け講習会】 名古屋校舎 10:45～ 豊橋校舎 11:00～
  - 3限 【18年度版の説明、相談会】 名古屋校舎 13:00～ 豊橋校舎 13:20～
- 場所** 名古屋校舎 厚生棟 W401教室  
豊橋校舎 4号館 2限 423教室・3限 421教室
- 初心者向け説明会**
  - 操作方法説明 コースリクエストと初期設定/教材配布(ファイルアップロード)/レポート課題/フォーラム/機能の紹介のみ ・小テスト ・アンケート
  - サポート体制、マニュアル設置場所の紹介 コースの開設や教材の配布をはじめ、Moodleの設定から使用方法の説明まで、メディアセンター職員や専任スタッフがお取り扱いに対応します。パソコンが苦手な先生方にも安心してお使いいただくことができます。  
・常駐サポート、メディアセンターサポート
- 利用者向け質問・相談会**  
18年度版Moodleを使いながら実践的な内容で進めます。学生の意見を聞き出す方法、リアクションペーパーの作成方法など、授業の中で感じるMoodleに対する誤りごと、ご不安などの相談にお答えします。
- 講師** 名古屋校舎：運営室 森野誠之  
豊橋校舎：株式会社コネクティブ 内田広幸
- その他** ※事前登録の必要はありません。直接教室までお越しください。  
※当日は教員向けマニュアルを配布いたします。

**講習会に関するお問い合わせ先**

名古屋校舎 情報システム課	佐藤 (内線: 20553)	お問い合わせ先 E-Mail
豊橋校舎 情報システム課専任室	水谷 (内線: 1532)	E-mail: moodiestaff@m.aichi-u.ac.jp
豊橋校舎 情報システム課専任室	宮部 (内線: 3100)	

### 第29回 Moodle 講習会のお知らせ!

この講習会、ご意見を  
お寄せください!

Moodle講習会は少人数でゆっくり進めたいと思いますので、まだ使ったことがない方、使い始めの方にはベターです。既に使いこなされている方は、質問だけのご参加でも構いません。申込などは不要ですので、お気軽にお立ち寄りください。

- 日時 3/22(金) 2・3 限**
  - 2限 【初心者向け講習会】 名古屋校舎 10:45～ 豊橋校舎 11:00～
  - 3限 【19年度版の説明、相談会】 名古屋校舎 13:00～ 豊橋校舎 13:20～
- 場所** 名古屋校舎 厚生棟 W401教室  
豊橋校舎 4号館 421教室
- 初心者向け説明会**
  - 操作方法説明 コースリクエストと初期設定/教材配布(ファイルアップロード)/レポート課題/フォーラム/機能の紹介のみ ・小テスト ・アンケート
  - サポート体制、マニュアル設置場所の紹介 コースの開設や教材の配布をはじめ、Moodleの設定から使用方法の説明まで、メディアセンター職員や専任スタッフがお取り扱いに対応します。パソコンが苦手な先生方にも安心してお使いいただくことができます。  
・常駐サポート、メディアセンターサポート
- 19年度版のMoodleを使いながら変更点などの説明を行います。**  
19年度版のMoodleを使いながら変更点などの説明を行います。学生の意見を聞き出す方法、リアクションペーパーの作成方法など、授業の中で感じるMoodleに対する誤りごと、ご不安などの相談にお答えします。
- 講師** 名古屋校舎：運営室 森野誠之  
豊橋校舎：株式会社コネクティブ 内田広幸
- その他** ※事前登録の必要はありません。直接教室までお越しください。  
※当日は教員向けマニュアルを配布いたします。

**講習会に関するお問い合わせ先**

名古屋校舎 情報システム課	佐藤 (内線: 20553)	お問い合わせ先 E-Mail
豊橋校舎 情報システム課専任室	水谷 (内線: 1532)	E-mail: moodiestaff@m.aichi-u.ac.jp
豊橋校舎 情報システム課専任室	宮部 (内線: 3100)	

## 2. Moodle 利用状況

### (A) コース利用状況

運用開始10年目の2018年度は、682コース、延べ348名の教員の利用があった。  
合計コース数および利用教員数ともに、前年度と比較して14～16%程度増加した。

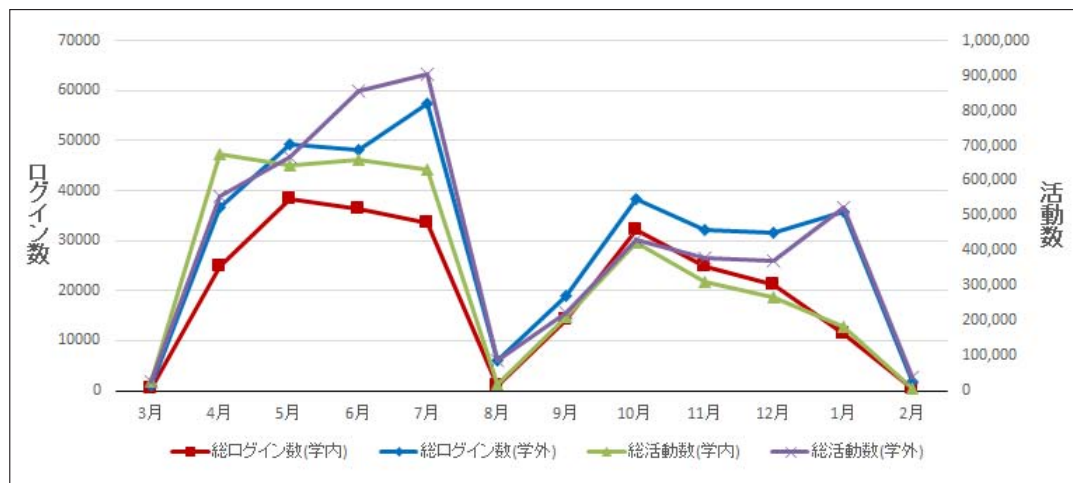
2017・2018年度コース登録数及び利用教員数（利用人数は、延べ人数）

カテゴリ	18年度春学期		18年度秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	48	30	38	27	86	57	246%	228%
共通教育科目〈名古屋〉	90	42	21	12	111	54	78%	77%
法	34	21	6	4	40	25	105%	104%
現中	17	10	10	7	27	17	123%	155%
経営	56	24	10	5	66	29	106%	107%
経済	47	23	15	11	62	34	129%	117%
文	55	25	20	7	75	32	142%	128%
国コミ	47	19	13	6	60	25	82%	96%
地域	45	18	18	9	63	27	117%	108%
短大	9	6	4	2	13	8	130%	100%
法科	15	7	1	1	16	8	123%	114%
大学院	8	5	2	2	10	7	200%	140%
資格課程	38	14	8	5	46	19	131%	146%
その他	4	3	3	3	7	6	100%	120%
合計	513	247	169	101	682	348	114%	116%

カテゴリ	17年度春学期		17年度秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	24	16	11	9	35	25	39%	58%
共通教育科目〈名古屋〉	108	47	34	23	142	70	195%	156%
法	32	20	6	4	38	24	119%	133%
現中	14	7	8	4	22	11	88%	85%
経営	47	19	15	8	62	27	87%	100%
経済	37	21	11	8	48	29	126%	107%
文	36	19	17	6	53	25	79%	78%
国コミ	56	18	17	8	73	26	130%	144%
地域	50	21	4	4	54	25	106%	93%
短大	8	6	2	2	10	8	143%	133%
法科	12	6	1	1	13	7	186%	233%
大学院	4	4	1	1	5	5	71%	125%
資格課程	25	9	10	4	35	13	121%	93%
その他	6	4	1	1	7	5	140%	100%
合計	459	217	138	83	597	300	107%	106%

(B) サイトアクセス状況

2018年度 学内・学外からのログイン数・活動数推移 (月別)



		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	平均
2016年度	総ログイン数 (学内)	577	18,581	23,614	24,558	24,551	844	14,144	23,480	15,386	14,911	11,525	381	172,552	14,379
	総ログイン数 (学外)	1,296	23,523	31,883	29,171	40,270	5,696	17,807	30,686	22,910	22,402	28,114	2,155	255,913	21,326
	総活動数 (学内)	18,659	277,868	339,264	400,772	471,513	12,141	223,648	416,410	254,346	256,717	208,724	6,073	2,886,135	240,511
	総活動数 (学外)	21,593	294,414	448,733	409,696	674,779	81,657	209,594	388,324	365,260	350,506	428,094	55,851	3,728,501	310,708
	ログインあたり活動数 (学内)	32.34	14.95	14.37	16.32	19.21	14.39	15.81	17.73	16.53	17.22	18.11	15.94	16.73	17.74
	ログインあたり活動数 (学外)	16.66	12.52	14.07	14.04	16.76	14.34	11.77	12.65	15.94	15.65	15.23	25.92	14.57	15.46
2017年度	総ログイン数 (学内)	252	22,285	31,648	29,730	27,430	748	14,941	26,339	19,795	18,381	12,241	301	204,091	17,008
	総ログイン数 (学外)	807	26,443	34,528	32,313	42,790	4,679	18,719	35,109	26,105	27,550	33,932	1,963	284,938	23,745
	総活動数 (学内)	3,321	502,910	484,384	540,335	582,451	13,854	219,535	461,564	298,655	244,556	223,295	7,013	3,581,873	298,489
	総活動数 (学外)	12,434	354,446	486,314	485,676	787,910	75,479	243,875	458,915	419,385	358,040	521,772	41,407	4,245,653	353,804
	ログインあたり活動数 (学内)	13.18	22.57	15.31	18.17	21.23	18.52	14.69	17.52	15.09	13.3	18.24	23.3	17.55	17.59
	ログインあたり活動数 (学外)	15.41	13.4	14.08	15.03	18.41	16.13	13.03	13.07	16.07	13	15.38	21.09	14.9	15.34
2018年度	総ログイン数 (学内)	366	24,810	38,348	36,359	33,528	986	14,090	32,035	24,770	21,096	11,290	324	238,002	19,834
	総ログイン数 (学外)	1,077	36,696	49,167	48,262	57,294	6,114	19,064	38,293	32,208	31,549	35,778	1,986	357,488	29,791
	総活動数 (学内)	26,564	677,532	644,977	658,176	630,869	17,445	211,906	423,267	311,240	265,314	183,726	4,931	4,055,947	337,996
	総活動数 (学外)	26,299	555,986	669,514	857,416	903,313	84,874	223,651	431,908	379,364	370,352	523,280	40,219	5,066,176	422,181
	ログインあたり活動数 (学内)	72.58	27.31	16.82	18.1	18.82	17.69	15.04	13.21	12.57	12.58	16.27	15.22	17.04	21.35
	ログインあたり活動数 (学外)	24.42	15.15	13.62	17.77	15.77	13.88	11.73	11.28	11.78	11.74	14.63	20.25	14.17	15.17
前年同月比	総ログイン数 (学内)	145.2%	111.3%	121.2%	122.3%	122.2%	131.8%	94.3%	121.6%	125.1%	114.8%	92.2%	107.6%	116.6%	116.6%
	総ログイン数 (学外)	133.5%	138.8%	142.4%	149.4%	133.9%	130.7%	101.8%	109.1%	123.4%	114.5%	105.4%	101.2%	125.5%	125.5%
	総活動数 (学内)	799.9%	134.7%	133.2%	121.8%	108.3%	125.9%	96.5%	91.7%	104.2%	108.5%	82.3%	70.3%	113.2%	113.2%
	総活動数 (学外)	211.5%	156.9%	137.7%	176.5%	114.6%	112.4%	91.7%	94.1%	90.5%	103.4%	100.3%	97.1%	119.3%	119.3%

※2018年度4月は日本語eラーニングのデータ削除が総活動数(学内)に含まれています

### 3. ICT委員会構成員

#### ◆ICT委員（2019年10月1日現在）

役職名	所 属	氏 名
情報メディアセンター所長	経 営 学 部	岩田 員典
委 員	文 学 部	近藤 暁夫
	地 域 政 策 学 部	蔣 湧
	短 期 大 学 部	ローラ リー クサカ
	法 学 部	松井 吉光
	経 営 学 部	毛利 元昭
	現 代 中 国 学 部	吉川 剛
	経 済 学 部	池森 均
	国際コミュニケーション学部	梅垣 敦紀
	法 科 大 学 院	春日 修

#### ◆情報メディアセンター事務室

情報システム課	課 長	三浦 文博
	係 長	石原有希子
	課 員	伊神 真悟
		太田 裕介
情報システム課 豊橋分室	係 長	宮部 浩之

#### 4. 愛知大学 情報メディアセンター沿革・歴代所長

年度	組織		所長（任期）		システム沿革
			豊橋	名古屋	
1978					IBM製ホストコンピュータ4331 導入
1979					
1980	電子計算機センター	電子計算機センター委員会			
1981			津村 善郎 (1980. 4. 1～1982. 4. 30)		
1982					
1983			福田 治郎 (1982. 5. 1～1985. 3. 31)		
1984					
1985					
1986			高橋 正 (1985. 4. 1～1989. 3. 31)		
1987					
1988					第1期教育研究情報システム稼動 1988.4-1991.3
1989	情報処理センター	情報処理センター委員会 豊橋情報処理センター委員会 名古屋情報処理センター委員会		坂東 昌子 (1989. 4. 1～1990. 9. 30)	日立製ホストコンピュータ(HITAC M-640/20) 導入
1990					
1991			藤田 佳久 (1989. 4. 1～1994. 9. 30)	浅野 俊夫 (1990. 10. 1～1992. 9. 30)	第2期教育研究情報システム稼動 1991.4-1994.3
1992					
1993				有澤 健治 (1992. 10. 1～1994. 9. 30)	
1994					第3期教育研究情報システム稼動 1994.10-1997.3 (全校舎学内LAN敷設)
1995					
1996			樋口 義治 (1994. 10. 1～1998. 9. 30)	長谷部 勝也 (1994. 10. 1～1998. 9. 30)	
1997					第4期教育研究情報システム稼動 1997.4-2000.9 (延長6ヶ月)
1998					
1999			宮沢 哲男 (1998. 10. 1～2000. 3. 31)	有澤 健治 (1998. 10. 1～2000. 9. 30)	
2000					10月 第5期教育研究情報システム稼動
2001			小津 秀晴 (2000. 4. 1～2002. 9. 30)	田川 光照 (2000. 10. 1～2002. 9. 30)	
2002					
2003					
2004	情報メディアセンター	情報メディアセンター委員会 豊橋情報メディアセンター委員会 名古屋情報メディアセンター委員会		坂東 昌子 (2002. 10. 1～2006. 9. 30)	4月 第6期教育研究情報システム稼動
2005			龍 昌治 (2002. 10. 1～2008. 9. 30)		
2006		情報メディアセンター運営会議 豊橋情報メディアセンター運営会議 名古屋情報メディアセンター運営会議			
2007				中尾 浩 (2006. 10. 1～2008. 9. 30)	
2008		ICT企画会議 豊橋ICT委員会 名古屋ICT委員会			4月 第7期教育研究情報システム稼動
2009			蔭 湧 (2008. 10. 1～2010. 9. 30)		
2010				伊藤 博文 (2008. 10. 1～2012. 9. 30)	
2011			沓掛 俊夫 (2010. 10. 1～2012. 9. 30)		
2012		ICT委員会			4月 新名古屋校舎システム稼働
2013			中尾 浩 (2012. 10. 1～2014. 9. 30)		
2014					
2015					
2016			松井 吉光 (2014. 10. 1～2018. 9. 30)		
2017					
2018					
2019			岩田 員典 (2018. 10. 1～)		



## 自己紹介

情報システム課 伊神 真悟

2013年10月1日に愛知大学の専任職員として採用され、名古屋教務課にて5年半勤務しておりました。その後、2019年の春からは、情報システム課に異動となり、現在はネットワーク・LMSシステム（Moodle）・テレビ会議システム等を担当しております。

前職では、約10年間システムエンジニアとして、製造業向けのシステム開発や、パッケージ開発を行い、主にオープン系（Web）システムの企画・設計・製造の業務や、クラウドサービスの開発を経験してきました。仕事をするなかで、たくさんの企業の方に出会うことができ、業務を知ることができ、刺激的な時間を過ごすことができましたが、いつしか、一つの企業・団体で、その企業・団体の成長や発展のために、働いてみたいという気持ちが強くなりました。そして今、本学の職員として働いています。

まずは、いち早く担当業務を理解して、学生及び教職員へ適切な情報サービスができるよう心がけていきたいと考えています。さらには、情報技術に関する最新情報の収集に努め、他の大学に負けない最新の情報サービスが提供できるよう努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

以上

## 編集後記

今回は3本の論文と1本の研究ノートを寄稿いただきまして、「愛知大学情報メディアセンター紀要COM」の第45号を発刊する運びとなりました。進歩する情報技術が生活・社会や教育・研究を便利で豊かなものにしていく一方で、その落とし穴も身近になってきております。そのような時世を反映した今号となり、寄稿いただいた著者の方々には厚く御礼申し上げます。

ところで、新元号「令和」となった今年度の日本は、キャッシュレス決済が拡充していきました。クレジットカード、交通系ICカード、電子マネーは以前から多く利用されていましたが、最近ではQRコード決済の利用が急激に増加しました。消費税率の引き上げに伴うレジの交換やポイント還元が強力に後押しした形ではありますが、土台にあるのは様々な機能をスマホへ集約する志向だと、筆者は考えています。というのも、会員カードを束にして持ち歩いている人を、ここ数年は見かけないためです。会員用アプリや他社のアカウントサービスを用いることで、大抵はスマホで済ませられます。重量は増えず、場所も取らず、探すのも容易になるのが、電子化のありがたいところです。そして、電子化された個人情報を閲覧・管理するためのツールとして、スマホは最適です。ここに私有の金銭が統合された形ですね。

そんなことを考える筆者は、実はQRコード決済をしたことがありません。単純に煩わしいからです。スマホを取り出してロックを解除してアプリを開いて、店員に画面を読み取ってもらったり自分がQRコードを読み取ったりする必要がありますよね。そしてそれらは、通信できる環境と電池残量を必要とします。片や、各カード類の場合は、支払いの手間が比較的少ないことに加え、電波や電池を気にする必要がありません。現代日本では気にする必要性が低い事柄と思われそうですが、あらゆる機能をスマホに集約した先には、それが本当に死活問題になります。「あると便利」を通り越して「ないと何もできない」になると、大きな落とし穴のそばに立っている形になるのです。

情報技術や情報社会の功罪について、様々な観点から研究・議論・共有されることは、今後も大いに期待されていると思います。そのような場として本誌をご活用いただく方が増えましたら幸いです。寄稿・閲覧など形を問わず、お待ちしております。

(M.M.)

## 愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉 原稿募集要項

情報メディアセンター紀要〈COM〉は、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては、情報メディアセンターまでお問い合わせください。

### 1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員と共著とする。）
- (4) 編集委員会が認めたもの

### 2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に関する内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報メディアセンターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

### 3. 投稿原稿の区分

投稿された原稿は編集委員会の審査に従って、下記のように区分して掲載する。ただし、法令等に抵触する、内容に著しい不備がある、執筆要項に従わないなどの問題があるものは、原稿の修正を依頼することや、掲載を見合わせることもある。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) 情報教育実践報告
- (4) 書評（新刊・古典・ソフトウェア）
- (5) 学会動向

※原稿の体裁と見本については別紙を参照のこと。

### 4. 原稿の提出要領

- (1) 原稿は、電子ファイルで提出すること。
- (2) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (3) 提出する電子ファイル名は、投稿原稿のタイトルとすること。
- (4) 図版等がある場合は、その電子ファイルもあわせて提出すること。  
図版等のファイル形式はjpegとする。
- (5) 提出ファイルは、原則Microsoft Wordまたはテキスト形式とする。

ただし、その他の形式であっても編集委員会が認めた場合は受理する。

- (6) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の欧文を添えること。
- (7) 著者は連絡先（ゲラ等の送付先）の住所、電話番号を申し込み先の担当者まで連絡すること。

## 5. 投稿原稿の体裁

投稿原稿は横書きとし、図・表などは適切な場所に分かりやすく挿入すること。  
なお、投稿原稿はCOM編集委員会にて共通したフォーマットに統一する。

## 6. 校正

- (1) 校正は著者校正を2回とする。
- (2) 校正段階での内容の変更は、編集作業に支障をきたさない範囲で行なうこと。

## 7. 著作権

- (1) 提出された論文の著作権は、原則として愛知大学情報メディアセンターに属し、無断で複製あるいは転載することを禁じる。
- (2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は、著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題が生じないように十分に配慮すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、著者がその責を負う。
- (4) 著作人格権は著者に属する。
- (5) 本誌に掲載された原稿は、学内においては、愛知大学情報メディアセンターホームページおよび愛知大学リポジトリにてデジタル公開するものとする。
- (6) 本誌に掲載された原稿は、学外においては国立情報学研究所等へ登録される。

## 8. その他

- (1) 別刷りは著者に対して希望を調査し、原則として30部以内で無料進呈する。
- (2) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

以上

申し込み・問い合わせ：愛知大学情報メディアセンター  
担当：情報システム課 太田 裕介  
E-mail：johosystem@ml.aichi-u.ac.jp  
TEL：052-564-6117（内線20554）  
FAX：052-564-6217（内線20569）

## 愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉 執筆要項

### 1. 執筆言語

和文もしくは英文とする。

### 2. 原稿

- (1) **論文**……和文の場合は30,000文字程度，英文の場合は15,000 words程度を上限とする。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (2) **研究ノート**……和文の場合は20,000文字程度，英文の場合は10,000 words程度を上限とする。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (3) **情報教育実践報告**……和文の場合は20,000文字程度，英文の場合は10,000 words程度を上限とする。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (4) **書評（新刊・古典・ソフトウェア）**……和文の場合は5,000文字程度，英文の場合は3,000 words程度を上限とする。書評（新刊・古典）には図版等を挿入することはできないが，ソフトウェアレビューについては若干の図版を添えることができる。
- (5) **学会動向**……COMのフォーマットに従う。  
長文の場合は分裁や再提出等の措置を求めることがある。

### 3. 著者と所属

著者名と所属を記載し，著者名のあとにカッコ（ ）に入れて所属を記載する。

### 4. セクションタイトルとセクション記号

本文中の章，節，項，目などの立て方は，原則として以下のとおりとする。

(例)

1. 章タイトル
- 1.1 節タイトル
- 1.1.1 項タイトル
- (1) 目タイトル

### 5. 図・表・写真

図・表・写真は，本文中の適当な箇所に挿入すること。または，挿入箇所を明確にすること。

ただし，COM編集委員会にて挿入位置，サイズを変更する場合があるが，変更不可の場合は明記のこと。

(1) 表について

表の上部に「表○ 表名」（○は表の一連番号）を記載すること。

## (2) 図・写真について

図・写真の下部に「図○ 図名」（○は図の一連番号）または「写真○ 写真名」（○は写真の一連番号）を記載すること。

## 6. 要旨とキーワード

論文と研究ノートには要旨とキーワードをつける。要旨は400字以内(200words以内)で執筆し、本文と同じ言語でもよいし、異なった言語でもよい。キーワードは国立情報学研究所のCiNii等への正確な登録のために、5～7語程度のキーワードをつける。

## 7. 謝辞

謝辞を記載する場合は、本文の最後に謝辞と小見出しを使い記載する。

## 8. 注

注を記載する場合は、以下のいずれかの方法による。

- (1) 該当ページの下部または見開きの前後2ページ分の後のページの本文の下部に脚注として記載する。
- (2) 本文の末尾に後注として一括して記載する。本文の後に1行空けてから「注」という見出しを立て、その次の行から、注を一括して記載する。

上記のいずれの場合も本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い<sup>注1)</sup>のように上付きで記すこと。

## 9. 参考文献

参考文献の記載は、本文の後（注がある場合は注の後）に1行空けてから「参考文献」という見出しを立て、その次の行から、参考文献を一括して記載すること。本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い<sup>1)</sup>のように上付きで記すこと。

参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順に記す。引用番号の記し方は本文上に出現した順番とし、次の例を参照にされたい。

(例)

- 1) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6-10（1960）.
- 2) Feldman, J.and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113（1968）.
- 3) 大山一夫：電子計算機，p.300，情報出版，東京（1991）.
- 4) Wilkes, M. V: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York（1990）.

以上

---

---

愛知大学情報メディアセンター紀要 COM〔コム〕

Vol.30 No.1 第45号

2020年3月1日 印刷

2020年3月5日 発行

編集 愛知大学情報メディアセンター

〔COM〕編集委員会

発行 愛知大学情報メディアセンター

(名古屋) 名古屋市中村区平池町四丁目60-6

〒453-8777 TEL (052) 564-6117 (直通)

FAX (052) 564-6217

(豊橋) 豊橋市町畑町1-1

〒441-8522 TEL (0532) 47-4124 (直通)

FAX (0532) 47-4125

(車道) 名古屋市東区筒井二丁目10-31

〒461-8461 TEL (052) 937-8120 (直通)

FAX (052) 937-8121

印刷 株式会社荒川印刷

---

---

